豊岡市における「空飛ぶクルマ」の取組みについて

豊岡市
市長公室経営企画課未来共創室

空飛ぶクルマ　×　豊岡市

これまでの経緯

兵庫県補助金と兼松(株)との取組み

社会実装に向けた兵庫県の取組み・ロードマップ

豊岡市 TOYOOKA

目標
【短期】環境整備を促進し、万博時（2025 年）の県内飛行を実現
【長期】事業者との連携により、県内に関連産業のエコシステムを形成



出典：兵庫県HP

はじまり

豊岡市 TOYOOKA

城崎まちづくり構想×空飛ぶクルマ

主催：兼松株式会社

STEP1　ソラｘマチの相互理解（勉強会）

STEP2　ソラｘマチの連携　（ワークショップ）

２回実施

STEP3　ソラｘマチの統合（構想案共創）

- 空飛ぶクルマの導入ビジョン(案)作成
- 導入に向けたロードマップ(案)作成　**今年度のゴール**

2024年10月9日

目　　標：

- 空飛ぶクルマを理解し語れるようになる。（地域側）
- 城崎のまちづくり概要について理解をする。（空クル側）
- ワークショップの方向性が関係者間で理解されている。

内　　容：

- 空クルの現状、リスクマネジメント、安全性
- バーティポート概要
- 空クル収益構造のイメージ
- 地域でのヘリ運用状況
- インバウンドエージェントへのヒアリング結果
- 北但大震災100周年記念事業の概要
- STEP2の進め方

参加者数：約30名





2023-25年度の主な実施内容

城崎温泉周辺のバーティポート候補地調査

構想計画	レイアウト検討、地盤調査、制限表面検討 等
電源	充電器への電源接続、系統からの引込検討 等
環境	行政協議、鳥類、騒音、景観等への影響調査 等
事業	整備費、需要、想定路線、就航率の調査 等
合意形成	ビジョン案策定、関係者説明会開催、シンポジウム開催 等

出典：兼松㈱資料

豊岡市は「空飛ぶクルマ」運航実現に向けた取組みを支援

協議会を通じた市民との合意形成

補助金の活用による資金的支援

市職員の協力体制

協議会設立へ

豊岡市における空飛ぶクルマに関する取り組み経過

2023年度

城崎地域において、
地元団体、空飛ぶクルマ事業者が**空飛ぶクルマ勉強会を開催**

＊「兵庫県空飛ぶクルマ実装促進事業」補助金を活用し空飛ぶクルマ事業者が開催
＊空飛ぶクルマ基礎知識、ユースケースの検討など

2024年度

地元団体、空飛ぶクルマ事業者等が
空飛ぶクルマ実装プロジェクト**ビジョン・ロードマップ案を策定**

2025年度

コウノトリとめぐる空飛ぶクルマ社会実装プロジェクト**推進協議会を設立**
（事務局：一般社団法人城崎温泉観光協会、豊岡市）



コウノトリとめぐる空飛ぶクルマ社会実装プロジェクト推進協議会

協議会目的

空飛ぶクルマの社会実装とそれに向けた取組みを通じて、

豊岡市をより「訪れたくなる」、「住みつづけたくなる」、「働きたくなる」憧れのまちにすることを目的としたプロジェクトを実施するために必要な事項について協議し、本プロジェクトを実行することを目的とする。

コウノトリとめぐる空飛ぶクルマ社会実装プロジェクト推進協議会　会員名簿

2026年8月21日時点

正会員	会長	1	(一社)城崎温泉観光協会
	副会長	2	城崎温泉旅館協同組合
	副会長	3	(株)湯のまち城崎
	副会長	4	城崎このさき１００年会議
	監事	5	全但バス（株）
		6	城崎温泉旅館経営研究会
		7	豊岡市商工会青年部城崎支部
		8	(一社)豊岡観光イノベーション
		9	兼松(株)
		10	東京海上日動火災保険（株）
		11	CAMEL（株）
		12	関西電力（株）
		13	豊岡市

賛助会員	1	WILLER(株)
	2	Skyports（株）
	3	日本工営（株）
	5	丸紅エアロスペース（株）
	4	（株）SkyDrive
	6	兵庫県

オブザーバー	1	豊岡市商工会
	2	豊岡市商工会議所
	3	但馬信用金庫
	4	（株）但馬銀行
	5	（株）三井住友銀行
	6	（株）みなと銀行
	7	山陰合同銀行
	8	経済産業省　製造産業局
	9	経済産業省　近畿経済産業局
	10	京丹後市

名誉会長	1	兵庫県知事
	2	豊岡市長

事務局：(一社)城崎温泉観光協会
豊岡市 市長公室 経営企画課

プロジェクトロードマップ

事業化決定

2030年運航開始

利用拡大

2025-2026	2027-2029	2030-2034	2030年代後半以降
事業検討 実証実験 合意形成	事業準備 注）期間限定の先行事業を検討	実装フェーズ１ （城崎：観光利用が中心）	実装フェーズ２ （豊岡：市民の利用が広がる）

注）空飛ぶクルマの開発状況、関係者の合意形成の進捗により変更の可能性有

協議会の取り組み内容

- 空飛ぶクルマ関連事業者による、
  豊岡・城崎温泉エリアでの**事業検討・推進状況の把握、課題等に対する対策協議**
- 豊岡・城崎温泉エリアの価値向上に向けた **運航路線先（地域）との連携**
- 国・県等の支援獲得に向けた、**陳情・ロビー活動**
- 市内外に向けた本プロジェクトの取り組む内容の発信による **機運醸成**
- **地域企業・団体等との事業連携** の検討・企画
- 本協議会の目的や取組み内容に賛同する**会員（空飛ぶクルマ関連・関心事業者等）の拡大**

空飛ぶクルマ　×　豊岡市

今後のとりくみ

豊岡市　空飛ぶクルマ実装推進事業　補助金(2026年度)

対象者	豊岡市域で下記対象事業を行う事業者 兵庫県空飛ぶクルマ実装推進事業採択事業者
対象事業	①商用運航の実現に資する事業　②離着陸場整備事業
対象経費	補助事業の実施に直接必要な経費
補助上限	①2,500千円　②2,500千円
補助率	２分の１以内

④コウノトリとめぐる空飛ぶクルマ社会実装プロジェクトの実現に向けた準備事業
城崎温泉バーティポート(仮称)の基本設計

豊岡市 TOYOOKA

(１)商用運航の実現に資する事業 | **(２)離着陸場整備事業** | (３)離着陸場候補地調査等事業

■ 事業化へのロードマップ

令和８年度	令和９年度	令和１０年度以降	令和１１年度以降
環境調査 基本設計 合意形成	環境調査 基本設計 行政協議	実施設計 設置許可申請	工事 竣工（R11年度頃）

■ ねらい

- 城崎温泉近郊における離着陸場建設に向けた準備を進める
- 空飛ぶクルマ受入れに向けた地域のステークホルダーとの合意形成の準備を進める

■ 令和８年度中のアクション

① バーティポートの基本設計の実施
② 国立公園における開発許可申請に必要な調査の実施
③ ステークホルダーとの合意形成に向けたフィールドワーク

＜城崎エリアでの実装イメージ＞



＜商用運航時に想定する機体例＞



提供：㈱SkyDrive



提供：丸紅エアロスペース㈱

■ 実施体制

兼松株式会社

＜代表事業者（申請者）＞
- 兼松株式会社

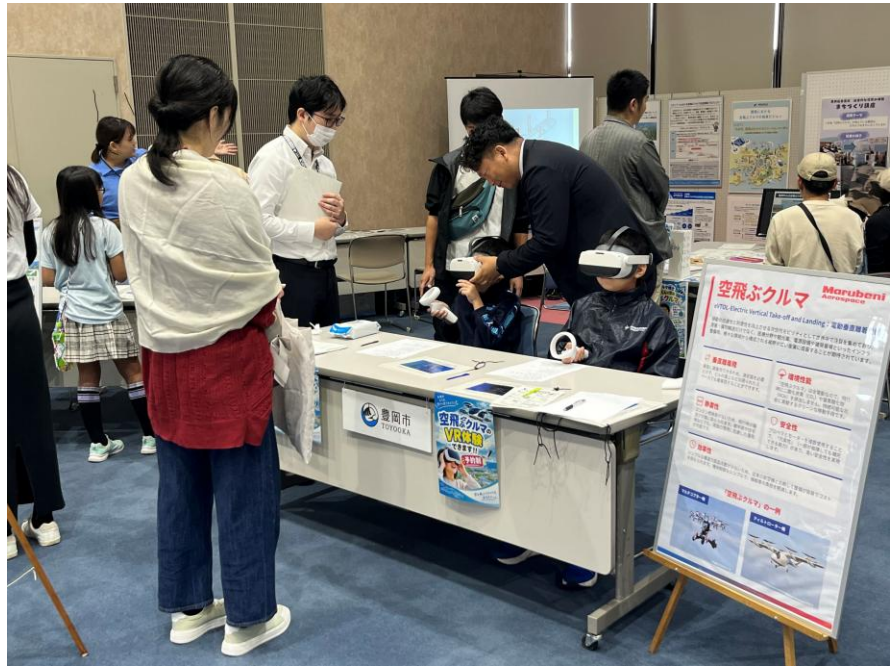
＜共同事業者＞
- 東京海上日動火災保険株式会社

＜協力事業者＞
- Skyports株式会社
- 日本工営株式会社
- 一般社団法人城崎温泉観光協会
- 城崎温泉旅館協同組合
- 株式会社湯のまち城崎
- 全但バス株式会社
- 一般社団法人豊岡観光イノベーション
- 一般社団法人 京都府北部地域連携都市圏振興社
- 株式会社大丸松坂屋百貨店 大丸神戸店
- 株式会社SkyDrive
- 丸紅エアロスペース株式会社
- 中日本航空株式会社
- 学校法人ヒラタ学園
- 川崎重工業株式会社
- Beta Technologies Inc.
- 関西電力株式会社

出典：兵庫県HP

参考①

10月17日　但馬空港での空の日イベントにおけるブース出展


空飛ぶクルマ
Maruberi Aerospace
豊岡市
TOYOOKA

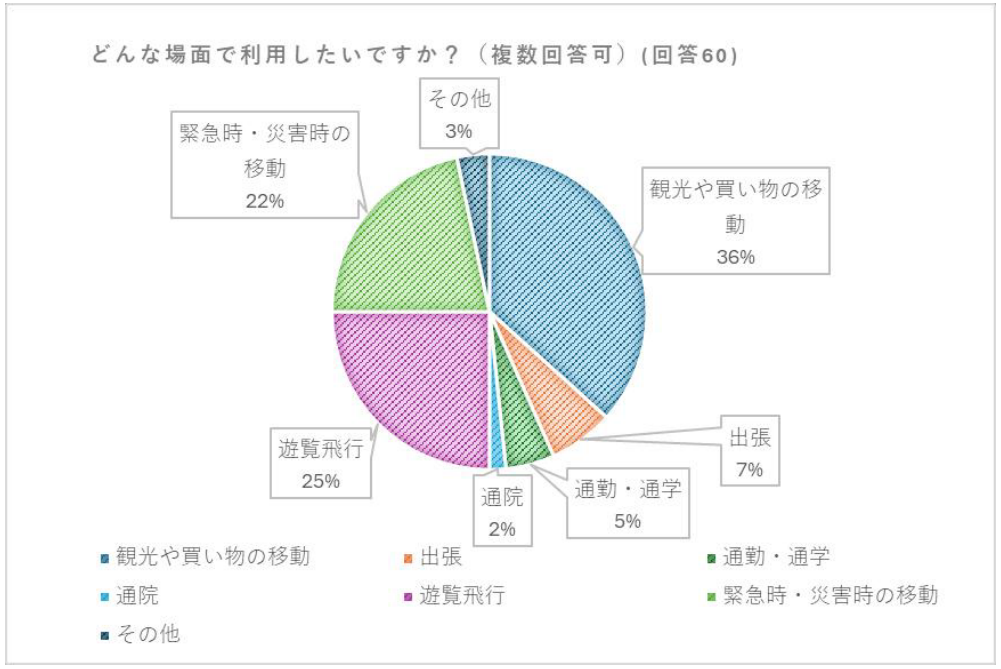


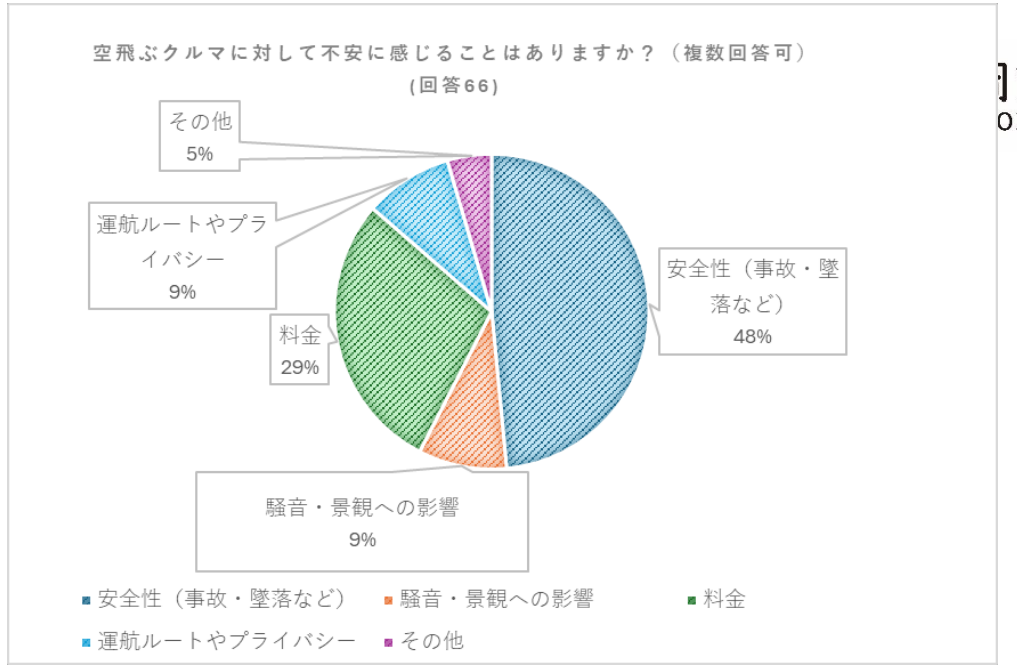

DUNLOP

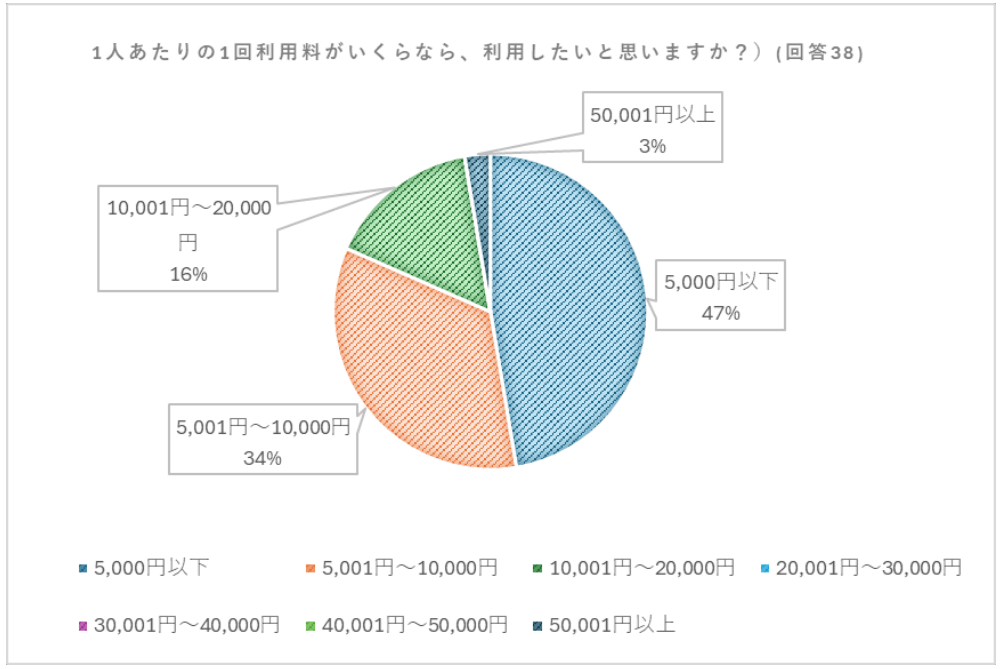

まちづくり講座
私たちの考える街の未来
医療
観光
防災

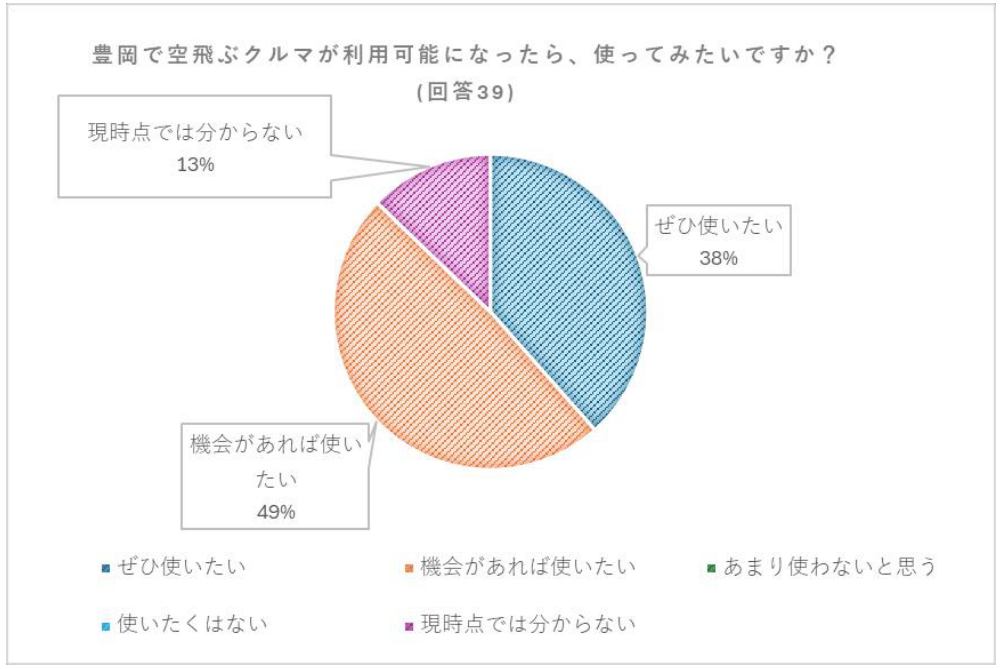


アンケート総数　60


どんな場面で利用したいですか？（複数回答可）(回答60)
その他
3%
緊急時・災害時の移動
22%
観光や買い物の移動
36%
出張
7%
通勤・通学
5%
通院
2%
遊覧飛行
25%
観光や買い物の移動
出張
通勤・通学
通院
遊覧飛行
緊急時・災害時の移動
その他


空飛ぶクルマに対して不安に感じることはありますか？（複数回答可）
(回答66)
その他
5%
運航ルートやプライバシー
9%
料金
29%
安全性（事故・墜落など）
48%
騒音・景観への影響
9%
安全性（事故・墜落など）
騒音・景観への影響
料金
運航ルートやプライバシー
その他


1人あたりの1回利用料がいくらなら、利用したいと思いますか？）(回答38)
50,001円以上
3%
10,001円～20,000円
16%
5,000円以下
47%
5,001円～10,000円
34%
5,000円以下
5,001円～10,000円
10,001円～20,000円
20,001円～30,000円
30,001円～40,000円
40,001円～50,000円
50,001円以上


豊岡で空飛ぶクルマが利用可能になったら、使ってみたいですか？
(回答39)
現時点では分からない
13%
ぜひ使いたい
38%
機会があれば使いたい
49%
ぜひ使いたい
機会があれば使いたい
あまり使わないと思う
使いたくはない
現時点では分からない

参考②

兵庫県立豊岡総合高等学校との取組み

豊岡総合高校　総合的な探究の時間

まちづくり講座

探究テーマ

○年後「空飛ぶクルマ」が飛んでいる豊岡は
どのようなまちになっているか

授業の様子



空飛ぶクルマ事業や、アイデアの考え方などをお話しいただきました！





「医療」「観光」「防災」について課題と、その解決策を考えています









中間発表に市役所の方からご助言をいただきました！

私たちの考える街の未来

医療



但馬の医療をつなぐ

小さな医院では治療できないときや、夜間救急など、救急車だけでは時間がかかってしまう搬送を空飛ぶクルマでより早く行えるようにする。

空飛ぶ訪問診療

小さな医院では治療できないときや、夜間救急など、救急車だけでは時間がかかってしまう搬送を空飛ぶクルマでより早く行えるようにする。

安心して高度な医療に接続することができる。
山間部などまちの中心部から離れている地域でも安定して医療を受けられる
但馬全域、鳥取、京丹後地域で医療をつなぎ支えていく

観光



空からめぐる但馬の旅

広い但馬地域を1日で周る城崎から始まる旅。
空飛ぶクルマ観光の会社を作り1日のプランをお客様と立てた後、観光へ出発。難しい公共交通機関の乗り換えもなくラクラク巡ることができる。

空から楽しむ但馬の風景

移動時間も空から眺める景色で楽しみながら観光できる。
田んぼなどを地上絵のようにして、空から眺めるアートの旅。

新しい仕事ができる。
但馬の各所にある良さを知ってもらえる。
旅の移動などのわずらわしさを軽減できる。

防災



一時避難先からの退避

地震による津波が日本海沿岸で起きたことを想定。高台へ避難した後、安全な地域へ避難する方法として活用できないか。

避難が困難な高齢者や地域の人も安心して暮らせる街
被災した人を各地へ運び、但馬全体で支援

大雪からの脱出プラン

大雪などで道路が寸断され孤立した地域からの脱出手段として空飛ぶクルマを活用する。
常設のパーティポートだけでなく非常時のパーティポートとなり得る場所を確保しておくことで、非常時の避難経路を確保する。

豊岡市 TOYOOKA